

令和7年司法試験 合格体験記

令和7年度在学中受験(既修コース) 大森 優月

この度、令和7年司法試験に合格いたしました。大森優月と申します。

私は岡山大学法学部を卒業した後、岡山大学法務研究科に進学しました。今まで支えてくれた家族、先生方、友人、資料室の方、事務の方に感謝申し上げます。

岡大ローでの生活は思い返せば、楽しいことばかりです。わかるまで教えてくださる先生方や、私と一緒に勉強してくれ、雑談に付き合ってくれた友人に囲まれ、充実した日々を送ることができました。

司法試験受験を通じて、私が思う受験に大切なことは、2つあります。1つ目は、睡眠、食事、手洗いうがいです。予習や復習の前提として、心身の健康は欠かせません。健康を蔑ろにすると、勉強習慣も崩れていってしまいます。遠回りのようですが、まずは規則正しい生活をすべきだと思います。

2つ目は、周囲に頼る力です。私が合格できたのは、両親や先生方のサポートがあったからです。私は、支えてくれる人に弱音を吐いたり、気持ちを聞いてもらったりしていました。1人では合格できなかったため、凶々しいことかもしれませんが、「助けて」という勇気も必要だと思います。

3つ目は自分を信じることです。本番が近くなると、不安に駆られることは多くあります。ですが、苦しんだからといって良い点数が取れるとは限らず、むしろストレスを溜めてしまえば本末転倒です。「今までやってきたことを書けば受かる」と信じ愚直に答案に書いていくことが大切です。

私は、司法試験受験を通じて、幸せになることを諦めなければ、幸せになれると思いました。毎日を生きる中で、様々な出来事が起こります。しかし、この出来事は事実でしかなく、それに幸せか不幸かの評価を付けるのは自分です。客観的に耐え難いことが起こっても、主観的に幸せだと思えればそれは幸せなのです。

これからの人生、私も皆さんも目標達成のために努力し、その結果が出る、というサイクルが続くと思います。自分自身に絶望せず、楽しく生きていきましょう。